

「税を考える週間」について

11月11日から17日までの一週間は、「税を考える週間」です。

毎年この期間中は、租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただけるよう、税に関する作品展や講演会といった様々な催しが開催されます。

税は、私たちの生活に欠かすことのできない道路、上下水道などのインフラ整備、警察・消防、教育、社会保障などの充実した公共サービスを行うための大切な財源です。

先月から、消費税及び地方消費税の税率が10パーセントに引き上げられるとともに、低所得者に配慮する観点から軽減税率制度が導入されました。これにより、一部の飲食料品などには8パーセントの税率が適用され、帳簿や請求書等の記載方法等も変更されました。

少子高齢化がすすんだ社会でも、世代を問わず一人ひとりが安心して暮らせる社会を実現するため、消費税率の引上げで得られた財源で、年金・医療・介護・少子化対策の社会保障の充実などを図ることとされています。

この機会に、改めて、私たちの生活と税の役割について考えてみませんか。

なお、「税を考える週間」の期間中の催しについては、各税務署にお問い合わせください。

〔県税・市町村税インフォメーション<http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/top.html>

国税庁取組紹介ページ<https://www.nta.go.jp/about/introduction/torikumi/week/index.htm>

1]